

第25回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名:松山市

事業の名称:都市計画道路『千舟町古川線(4工区)』

実施都市名:松山市

事業目的

「そこに住んでみたい」と感じる、快適で豊かな都市空間を創出します。

本事業では、宅地化が進んでいる市内南部地区の良好な市街地形成を図り、歩行者・自転車交通の安全性・快適性の向上を図るものです。

また、中心市街地への自動車交通の分散を図り、交通混雑の緩和に寄与するものです。

事業概要

事業名称：都市計画道路『千舟町古川線(4工区)』

路線名：千舟町古川線

事業箇所：松山市

事業延長：620m

幅員：6.5(20.0)m

事業費：約23億円

事業実施期間：平成16年度～平成23年度

本事業は、市内中心部を起点とし、終点は陸路の玄関口である松山インターと空路の玄関口である松山空港を結ぶ地域高規格道路「外環状道路」に至る幹線道路である。

車道2車線に両側自転車歩行者道を配置し、両側植樹帯には「はなみずき」を植樹した基本構造である。

完成済み区間を合わせた全体延長は約3800mとなり、一部区間は、「はなみずき通り」の愛称で親しまれている。

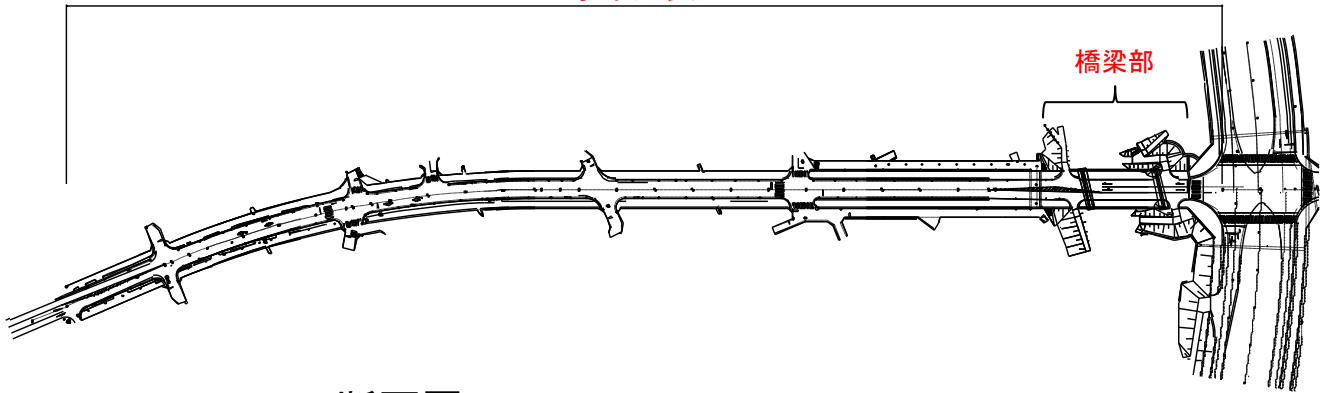
事業位置図



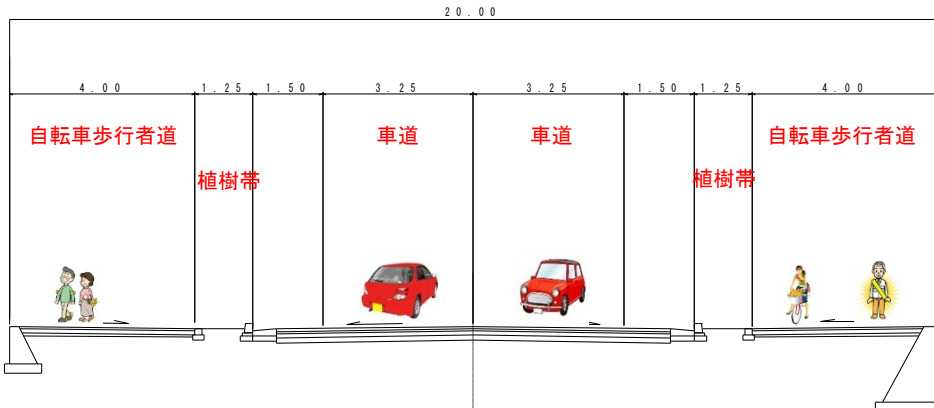
全体図(平面図・側面図・横断図)

平面図

事業延長 620m



断面図



千舟町古川線(4工区)の整備効果アピール資料



千舟町古川線(4工区)



同時期開通道路



南部児童センター
保健センター南部分室



○事業概要

事業名: 都市計画道路『千舟町古川線(4工区)』
 路線名: 千舟町古川線
 事業箇所: 松山市
 事業延長: 620m
 幅員: 6.5(20.0)m
 総事業費: 約23億円
 事業期間: 平成16年度～平成23年度

○地区内発生事故件数調査結果
 供用前 平成23年4～9月実測
 供用後 平成24年4～9月実測

・事故件数の推移
 96件 → 82件
 (15%減少)

「整備効果」

・市内南部地区内の安心歩行エリアにおける事故件数が46%減少し、安全・安心なまちづくりの実現に寄与した。

(平成15年度)136件/km²・年 → (平成23年度)73件/km²・年

・地区内の幹線道路歩道整備率が28%向上し、安全で安心な道路空間を創出した。

(平成15年)47% → (平成23年度)75%

「その他の事業効果」

・同時期に地区内に整備した複合保健福祉施設(南部児童センター)へのアクセスとして利用され、1日の来場者数は357名に達し、世代間交流・豊かな人間性育成に寄与した。

・地区内における幼児検診の受診割合が80%から90%に向上し、子供の健やかな発達促進に寄与した。

・現在整備中である地域高規格道路「外環状道路」との道路ネットワークを考慮しており、地区外とのさらなる交流効果が期待できます。

事業前写真

平成22年7月撮影



平成22年7月撮影



平成22年7月撮影



事業後写真

平成24年12月撮影



平成24年12月撮影



平成24年12月撮影



平成24年12月撮影



平成24年12月撮影

